

若手グループ土曜例会実施報告

化学部会 若手グループ

1. 概要

- 開催日時： 2020年10月24日（土）14時00分～16時00分
 - 開催場所： ZOOMによるオンライン開催
 - 会 費： 会員・準会員・関連学協会会員 1,000円、その他非会員 2,000円
 - 参加者： 技術士会会員 35名
 内訳：化学28名、衛生工学1名、金属2名、環境1名、応用理学2名
 非会員2名(化学2名)
 講師2名
- | | |
|----|-----|
| 合計 | 39名 |
|----|-----|

2. プログラム

- 14:00～15:15 「化学物質の毒性予測」
 独立行政法人製品評価技術基盤機構 櫻谷祐企氏
 休憩
- 15:25～16:00 「化学文献から抽出した化学情報の知識化」
 株式会社富士通研究所 池田紀子氏（技術士(応用理学、総合技術監理)）

3. 費用

<収入>

参加費	会員	1,000×35 =	35,000円	
	非会員	2,000×2 =	4,000円	

合 計	39,000円
-----	---------

<支出>

謝金支出※	櫻谷 祐企氏	40,000円	(製品評価技術基盤機構への振込)	
	池田 紀子氏	8,979円	(源泉徴収込み)	
ZOOM 契約代		2,000円		
Peatix 手数料		5,574円		
振込手数料		210円		

合 計	56,763円
-----	---------

※講師謝金は、化学部会より全額支出

<収支>

▲17,663円

<若手G 管理会計収支>

前回までの若手の会繰越金	21,020円
--------------	---------

若手の会繰越金	52,236円
---------	---------

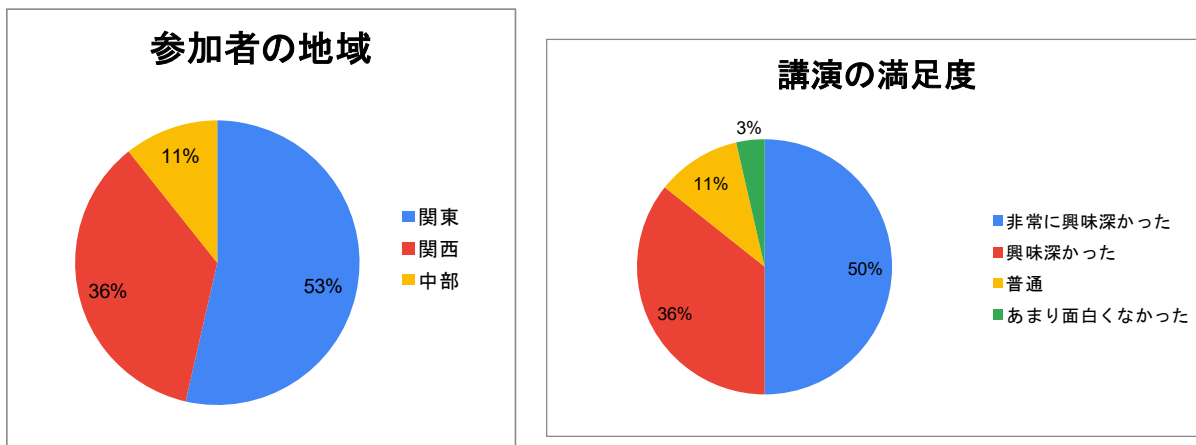
4. 特記事項

- ・今回、初めてオンラインで開催した。開催自体は成功したと考えている。
 - ・参加申し込みおよび参加費の支払いは、「Peatix」を利用した。Peatixは、キャンセルへの対応、リマインダーメールの送信など、他のサイトより便利な機能が多い。しかし、以下の短所がある。
- 1) 手数料が高い。(全収入×4.9% + 99円/チケット)
 - 2) 化学部会としての領収書を発行できない

今回、2)について、1件だけ郵送で対応した。

5. アンケート結果より

1) 参加者の地域および講演の満足度



- ・半数近い方が、関東地域以外から参加されていた。オンラインで実施した効果と考える。
- ・講演の満足度は、9割近い方が「非常に興味深かった」、「興味深かった」と回答していた。(偶然にも、最初の講演と二番目の講演の割合は全く同じだった。)

2) オンライン開催における問題点

- ・最初の講演は雑音が多かった、二番目の講演は音声途切れることがあった、との指摘があった。講演前に、演者にはヘッドセットを用いるように要望していたが、櫻谷様から直前にPC内蔵マイクで実施してほしいとの要望があった。雑音が多かった一因と考えられる。
- ・回線の安定性は、必ずしもTeamsよりZOOMの方が良いとは限らない。むしろ、個々のネット環境に依存していると推定される。(ただしZOOMには、「ブレイクアウトルーム」という少人数で議論ができる機能があるので、若手の会では今後もZOOMを使用していきたいと考えている。)

3) 今後取り上げたいテーマ

- ・リサイクル動向、グリーンケミストリー、新材料開発
- ・技術士資格の更新と日本技術士会の見識について
- ・AI、IoTの化学分野への応用
- ・化学企業の再編動向について
- ・除菌及び殺菌に関連する薬剤、装置、方法等
- ・マイクロプラスチック問題の動向
- ・防災対策に対する化学分野で展開している事例
- ・EU REACH規則など
- ・ドーナツ経済学について
- ・TSCAインベントリーリセットの具体的事例

以上